



児童館・児童センターの指定管理について

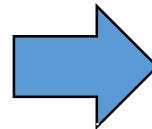
1

1 選定に至る経過

R元年度													R2年度	
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
<ul style="list-style-type: none"> ●2/4市議会政策説明会(選定方法を説明) ●2/13住自協連絡協議会理事会(〃) ●3/4校長会(〃) ●3/15館長・施設長会(〃) 														
<p style="text-align: center;">➔ 4/15～6/14募集期間</p>														
<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者選定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ●10/3市議会政策説明会(候補団体の決定) ●10/4選定結果通知発送 ●10/8選定結果公表、館長・施設長会で結果報告 														

(1) 募集方法の変更

施設名称 (現在の指定管理者)	施設数	募集
箱清水児童センター ほか35施設 (社会福祉法人長野市社会福祉協議会)	36	非公募
吉田児童センター (吉田地区住民自治協議会)	1	非公募
豊野西部児童センター、豊野東部児童館 (企業組合労協ながの)	2	非公募



グループ
編成

施設名称	施設数	募集
箱清水児童センターほか14施設 【北部地域】※吉田、豊野を含む。	15	公募
古牧児童センターほか7施設 【中部地域】	8	公募
昭和児童センターほか15施設 【南部地域】	16	公募

放課後子ども総合プラン事業の全小学校区での実施が実現したため、原則に従い公募として実施(今回は、プラン事業を全小学校区で実施するための移行期であり、現指定管理者による継続した管理運営が必要なことから非公募で実施)



児童館・児童センターの指定管理について

(2) グループ編成の方針

- ・効率的な事業運営が図られ、かつ、新規事業者が参入できる規模とする。
- ・小学校との連携を考慮して、小学校の地域区分によりグループ分けをする。

(3) 事業の継続性の確保

児童館・児童センターは、放課後子ども総合プラン事業の実施場所としていることから、指定管理者にプラン事業を委託し、一体的・効率的な管理運営を図る。

- ・長野市放課後子ども総合プラン事業ガイドラインに沿って支援内容の質を確保する。
- ・運営委員会委員の内申については、引き続き住民自治協議会のご協力をいただき、地域との連携を図る。
- ・募集要項に職員の継続雇用への配慮を記載し、児童への継続した支援を行う。
- ・事業者間で情報交換や必要な調整を行うための機会を設けることを検討する。

【募集要項に「職員の継続雇用への配慮」を記載した理由】

- スムーズな事業運営のためには、有資格の支援員が不可欠であるが、現職員以外から必要な人数を確保することは、現実的ではない。
- 子ども達の支援の継続性を確保するため、職員の継続雇用が必要である。



2 候補団体決定後の状況

現事業者である「長野市社会福祉協議会」と候補団体である「労協ながの」で協力し説明会を開催してきた。

10月	8日	館長・施設長会議で選定結果報告
	31日	北部館長・施設長説明会(1回目) ・各施設の代表者へ説明
11月	7日	北部館長・施設長説明会(2回目) ・各施設の代表者へ説明
	13・14日	北部地域従事者説明会 ・直接、従事者へ説明
	～14日まで	意向調査 ・従事者へ就労希望等を調査

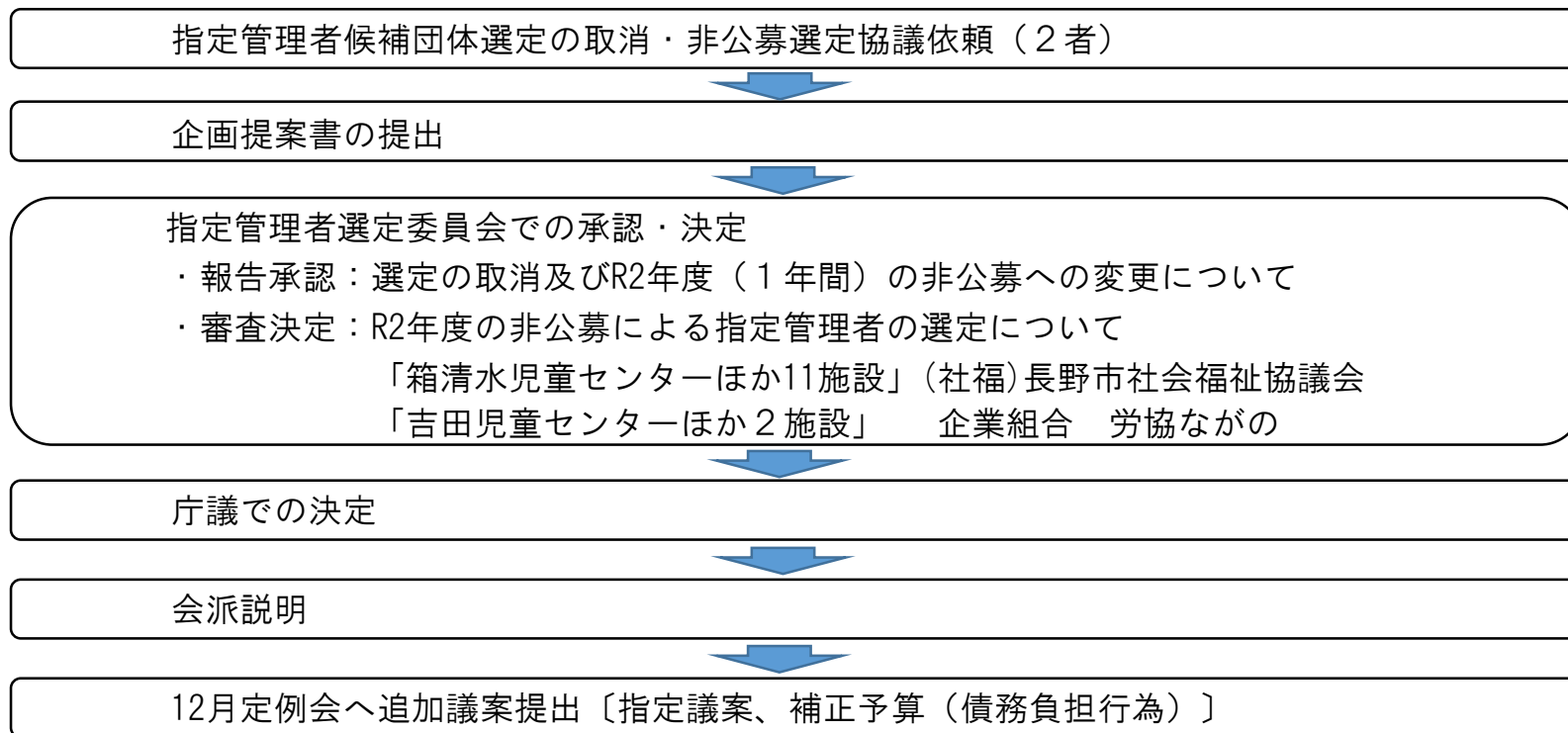
- 「長野市社会福祉協議会」から「労協ながの」に変わる事への理解がなかなか得られなかった。
- 現時点においては、継続雇用による職員の確保が見込めない状況であると認められた。
- 新年度の利用登録事務も始まっており、4月からの安定的な事業運営のためには、速やかに現在の職員を基本に来年度の体制を整える必要がある。



児童館・児童センターの指定管理について

3 協議の結果

- 利用している子ども達に影響が及ばないように、R2年度の1年間は、非公募に切り替え、現状の体制を継続し、現事業者(2者)により実施する。
- 社会福祉協議会の協力の下、労協ながのに変わることについて、職員の理解を得られるように、十分な説明の機会を設けていく。
- R3～6年度については、令和2年2月末を目途に、職員の理解などの状況を勘案し、公募または非公募の選定を行うかを判断する。





児童館・児童センターの指定管理について

○指定議案

「長野市箱清水児童センターほか11施設の指定管理者の指定について」

○令和元年度 一般会計補正予算 債務負担行為(追加)

指定管理による長野市箱清水児童センターほか11施設管理運営事業費
(令和2年度) 41,397千円

指定管理者(更新)

社会福祉法人 長野市社会福祉協議会